

しながわ 防災

ハンドブック



今からはじめる
わが家の防災



品川区で地震が起きたら

災害に備えるためには、被害の様子を具体的にイメージすることが大切です。
首都直下地震が起きたら、区内ではどれくらいの被害が出るでしょうか。



品川区内の被害想定

人物的被害

- 死者 **779人**
＜原因＞ 火災 520人、揺れ等建物被害 252人、急傾斜地崩壊 5人、ブロック塀等 1人
- 負傷者 **8,016人** ※うち重傷者 **1,376人**
＜原因＞ 揆等建物被害 5,642人、火災 2,337人、ブロック塀等 28人、急傾斜地崩壊 6人、屋外落下物 3人

建物の被害

- 建物全壊 **25,376棟**
＜原因＞ 火災 20,095棟、揆等 5,281棟

ライフライン被害

- 上水道(断水率) **46.2%**
- 下水道(管きよ被害率) **28.7%**
- ガス(供給停止率) **16.1%~100%**
- 電力(停電率) **47.4%**
- 通信(不通率) **35%**

その他の被害

- 帰宅困難者 **179,084人**※1
- 避難者 **184,510人**
- 避難所生活者 **119,932人**※2
- エレベーター閉じ込め台数 **370台**

「首都直下地震等による東京の被害想定(平成24年4月東京都発表)」に基づく(マグニチュード7.3・震源地東京湾北部・冬の18時発生・風速8m／秒の場合)

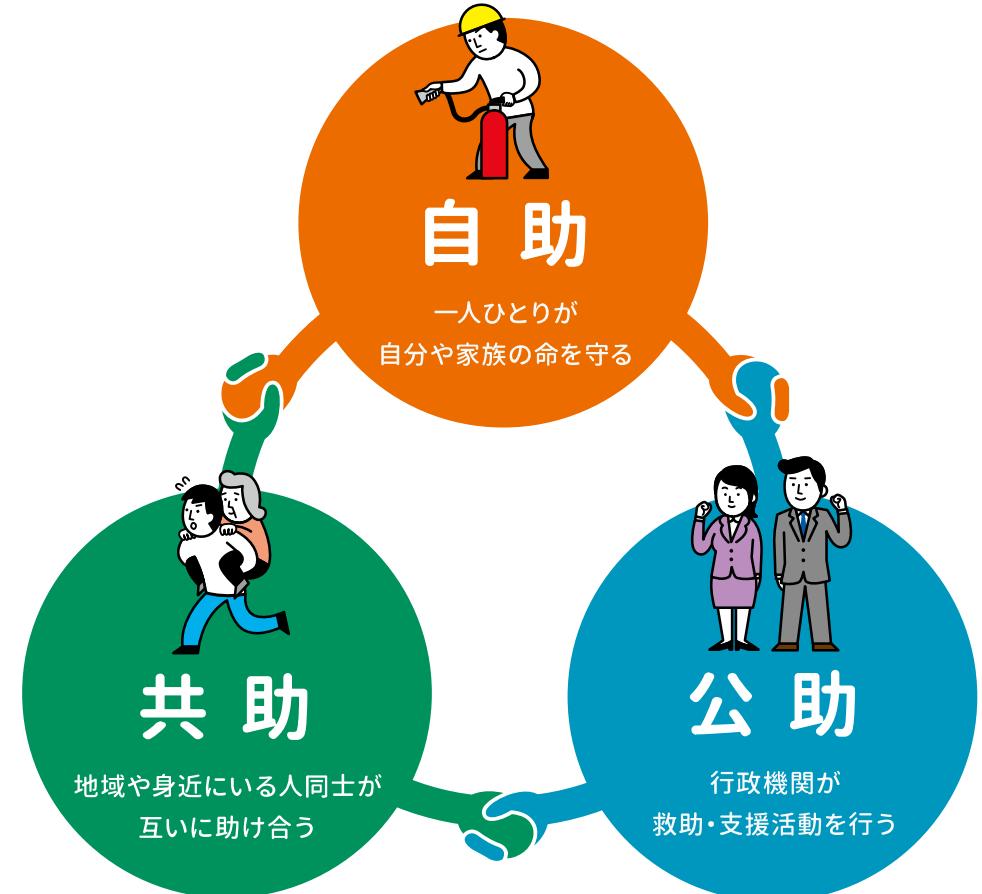
※人物的被害は、夜間人口365,302人、昼間人口505,034人と想定、建物の被害は、建物棟数(木造)51,286棟、建物棟数(非木造)25,015棟と想定し、算出。

※各数値については小数点以下の四捨五入により、合計値は合わないことがある。

※1 帰宅困難者については東京都市圏外からの流入は含まない。※2 避難所生活者については避難者の65%とする。

大切なことは、命を守ること、助け合うこと。

災害対策では、自助・共助・公助の連携が重要です。平素から災害に備えるため、一人ひとりが、「自分の命は自分で守る」という「自助」の意識を持ち、地域の人同士が助け合う「共助」の体制を、行政機関の支援による「公助」のもと、つくっていきましょう。



品川区災害対策基本条例における努めと責務

区民の努め

- 平時より自ら災害に備える。
- 災害時は、自分と家族の安全を確保する。
- 地域や身近にいる人同士が助け合い、安全を確保する。

防災区民組織の努め

- 平時より防災訓練を実施し、組織の維持および向上に努める。
- 災害時は、事業者等と連携、協力し、地域の応急活動等を行う。

事業者の努め

- 管理する施設および設備の安全を確保する。
- 従業員、来訪者等の安全を確保する。
- 災害時は、防災区民組織等と連携、協力し、地域の応急活動等を行うよう努める。

品川区の責務

- 災害対策を的確かつ円滑に実施するとともに、防災体制を整備する。
- 平時より防災関係機関、他の地方公共団体との連携、協力を図る。
- 区民、防災区民組織、事業者、ボランティア等との協力体制の構築に努める。

目次

品川区で地震が起きたら

第1章

地震発生！そのときどうする？

① 激しく揺れたときは	8
① 身を守る	10
② 安全を確保する	12
③ 状況を確認する	13
④ 隣近所と助け合う	14
⑤ 避難する	15
⑥ 生活を再建する	16
② 火災のときは	18
③ 津波のときは	20

第2章

知ろう、決めよう

① 地域の危険を知ろう	24
① 揺れによる危険と避難する場所	24
② 火災の危険と避難する場所	26
④ 地震避難マップをつくろう！	27
③ 津波の危険と避難する場所	28
④ 情報の入手先	30
② 家族で決めておこう	32
① 家族の安否確認	34
② 家族の集合場所	35
④ 防災カードをつくろう！	36

第3章

備えよう

① 身を守るために	40
① 安全な場所を確保する	40
② 火災に備える	42



品川区防災課マスコットキャラクター
ジージョくん

② 在宅避難のために	44
① 食べもの・飲みものを備える	44
② 生活用品を備える	46
④ 自宅の備蓄品を確認しよう！	48
③ 避難所で生活するときは	50
① さまざまな人との共同生活	50
② 気をつけたいこと	52
③ 非常持出品を備える	54
④ 非常持出品をチェックしよう！	54

第4章

身につけよう

① 救急処置の方法	60
① 救急処置の手順	60
② 応急救手当	61
③ 心肺蘇生	62
② 初期消火の方法	66

第5章

その他の災害、そのときどうする？

① 大雨が降りそう・降ってきたら	70
① 情報に注意する	72
② 事前に備えておく	74
③ 早めに避難する	76
② その他の災害が起こったら	80
① 雷・竜巻による災害	80
② 火山災害	80
③ 大規模事故	81
④ 武力攻撃災害	81

第6章

活用しよう

① 区の取り組み	84
① 学ぶ・身につける	84
② 各家庭への助成	86
③ 地域・マンションへの支援	88
② 関係機関の連絡先	89